

2024年  
2月

# 県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、回復している。**

●2024年2月 おきぎん「カトレア」景況図●



**2月の県内景況は、個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

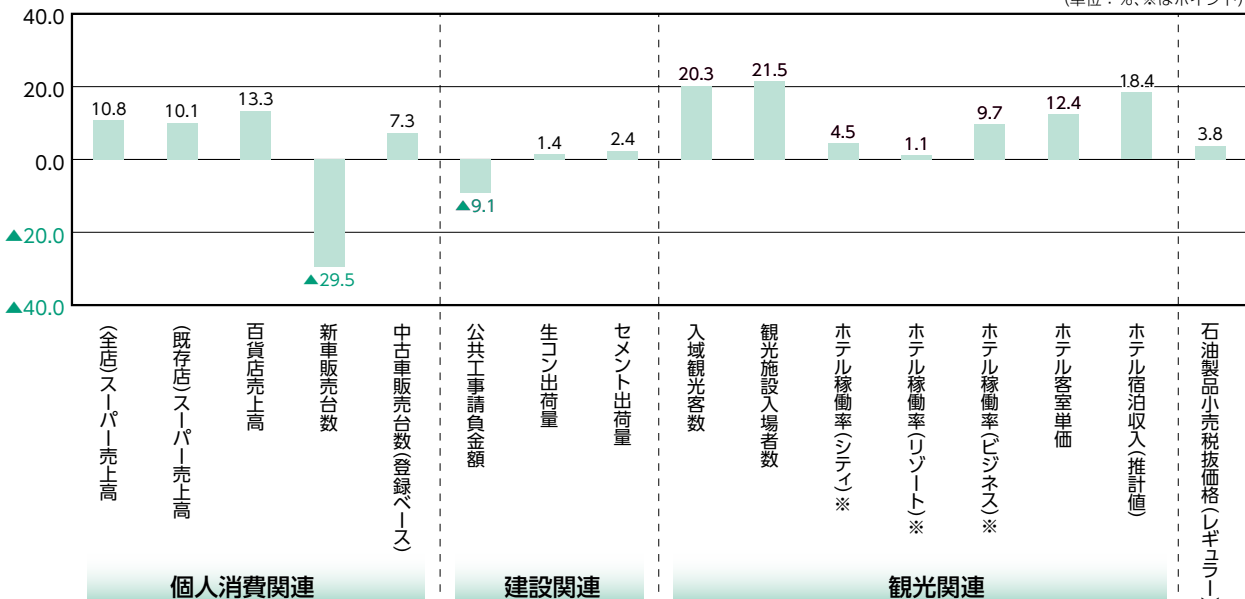
**観光関連**では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設関連は、概ね堅調に推移しています。観光関連は、各種イベント開催や外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「**県内景況は、回復している**」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から5か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位：%、※はポイント)





# 個人消費



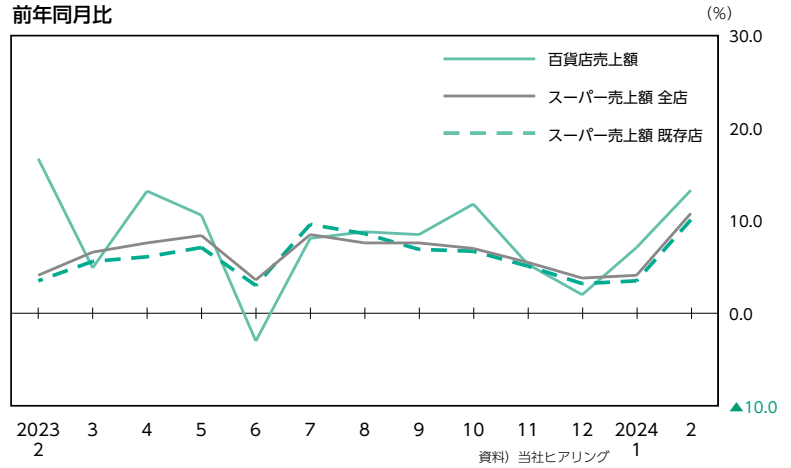
(やや良い)

## ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

2月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比10.8%増）」は、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同10.9%増）」は、バレンタインや節分、旧正月などのイベント関連商品が好調に推移したことや物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品（同12.6%増）」は、新生活向け商品の販売好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同8.8%増）」は、前年同月を上回りました。また、各品目ともうるう年の影響により営業日が1日多かったことや来店客数の増加も好調要因となりました。

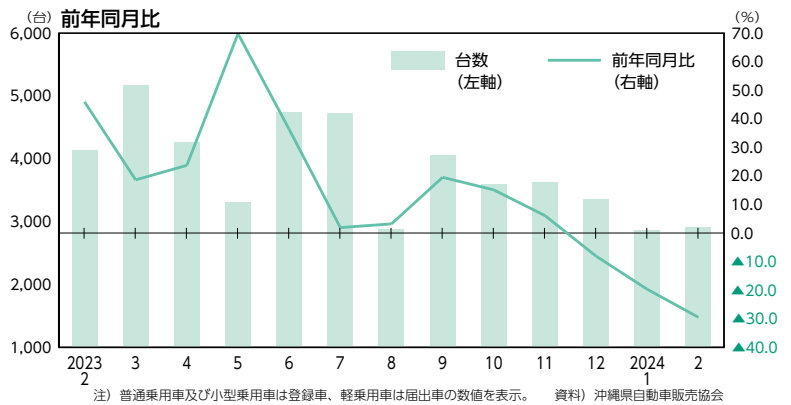
「既存店ベース（同10.1%増）」は、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同10.1%増）」は、イベント関連商品の好調や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。「家庭用品（同11.4%増）」は、新生活向け商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同8.8%増）」は前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました（同13.3%増）。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同9.6%増）」は、バレンタイン企画や免税売上げの好調等により前年同月を上回りました。「衣料品（同14.0%増）」は、企画の好調や式典関連商品の売り上げ伸長などにより前年同月を上回りました。「雑貨（同30.5%増）」は、企画の好調などにより前年同月を上回りました。全体としては7ヵ月連続で前年同月を上回りました。



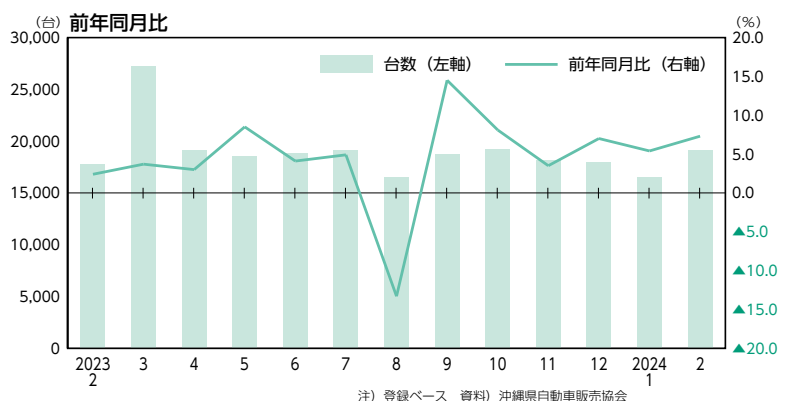
## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で2,913台（同29.5%減）となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同12.1%減）」、「小型乗用車（同40.5%減）」は一部メーカーの出荷停止や受注の遅れ、レンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。「軽乗用車（同33.2%減）」は、一部メーカーの出荷停止やレンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。



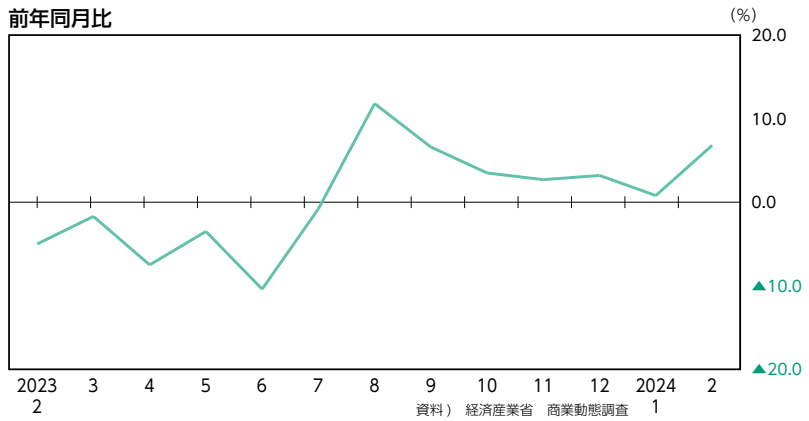
## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で19,106台（同7.3%増）となり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車（同11.5%増）」、「軽自動車（同4.8%増）」と前年同月を上回りました。



## ④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

2月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



## 建設関連

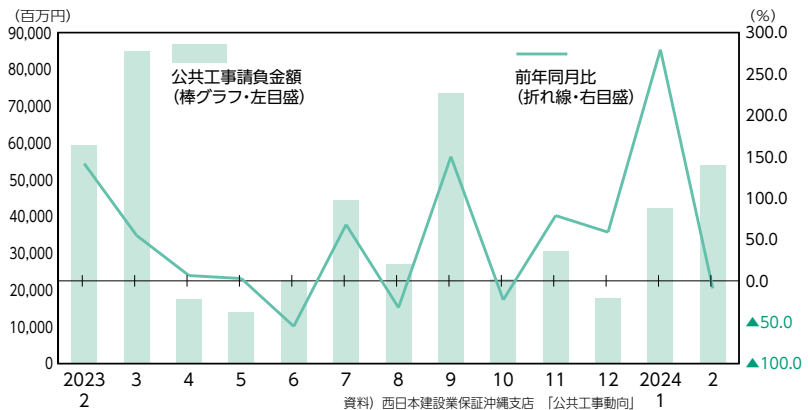


(ふつう)

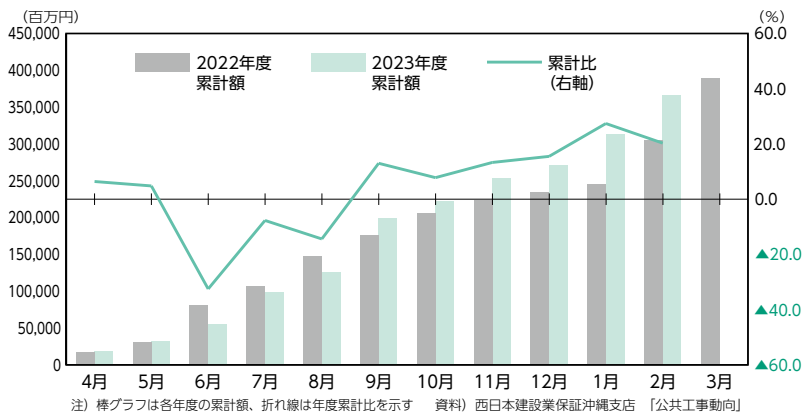
## 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

2月の公共工事請負金額は、前年同月比9.1%減の539億8,600万円となりました（4ヵ月ぶりに減）。

発注者別で見ると、「国（同16.5%減）」、「その他の公共的団体（82.0%減）」、「独立行政法人等（80.4%減）」は前年同月を下回りました。一方、「市町村（同63.8%増）」、「沖縄県（同12.7%増）」は前年同月を上回りました。



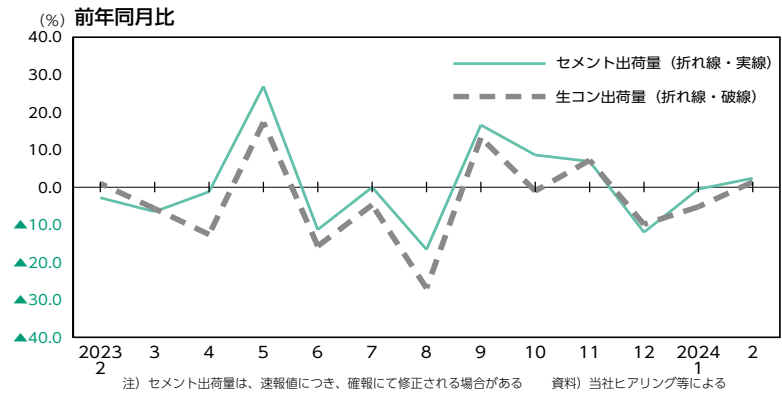
## 【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。





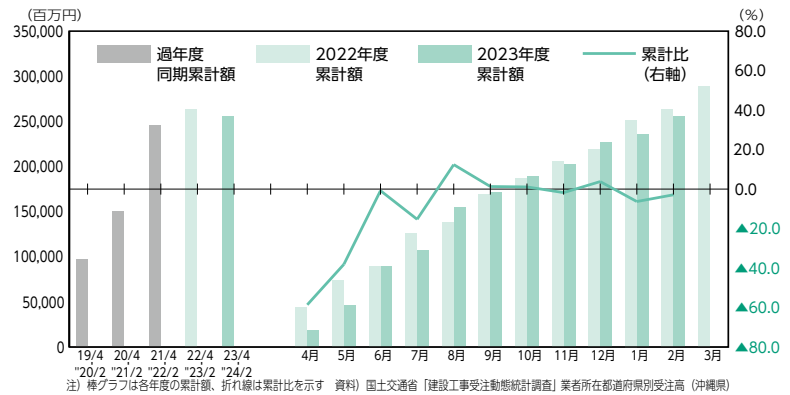
## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は1.4%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、民間工事向けは、北部地区、中南部地区、宮古地区での出荷が増加したことなどから前年同月を2.9%上回りました。一方、公共工事向けは、中南部地区、石垣地区での出荷が減少したことなどから前年同月を1.2%下回りました。セメントの出荷量は、2.4%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



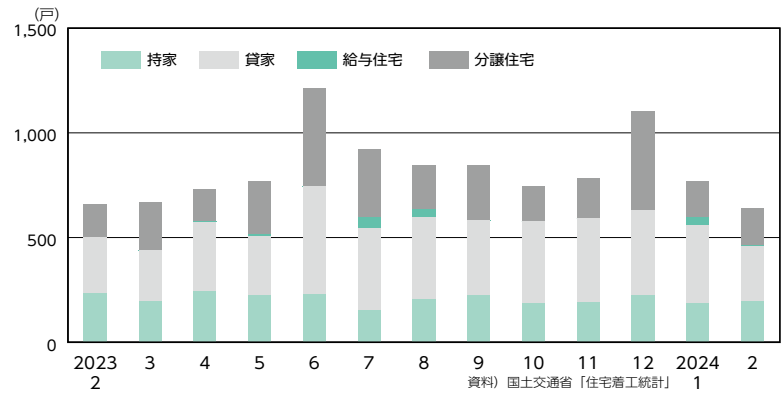
## ③ 【参考】民間等元請受注(年度累計)…前年同期を下回る。

今年度累計値では、6.3%減となっています。



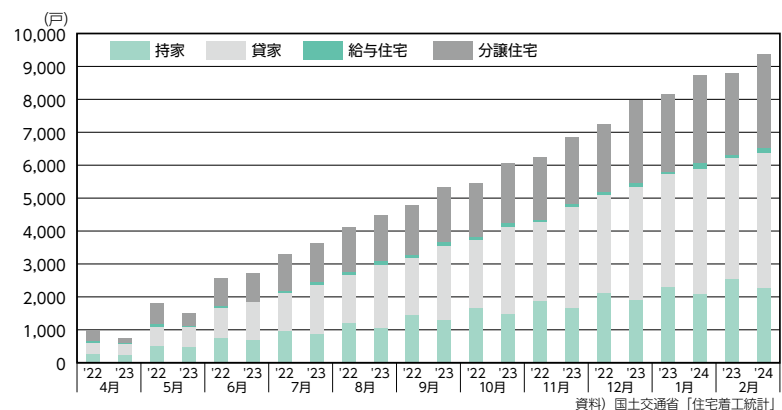
## ④ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比2.6%減の640戸となり、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同15.1%減)」、「貸家(同3.0%減)」は前年同月を下回りました。一方、「分譲住宅(同14.2%増)」、「給与住宅(同4戸増)」は前年同月を上回りました。



## 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

今年度累計値では、6.4%増となっています。

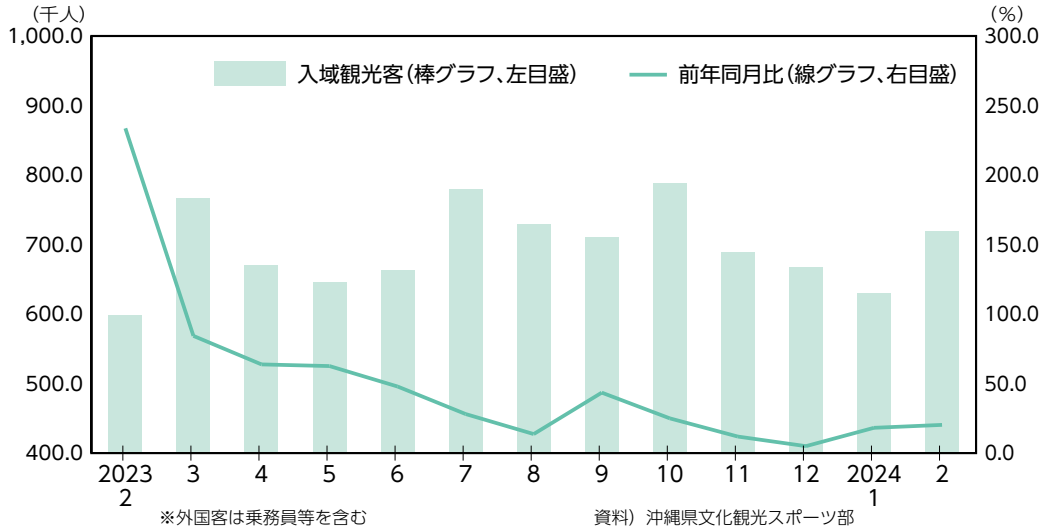


観光関連

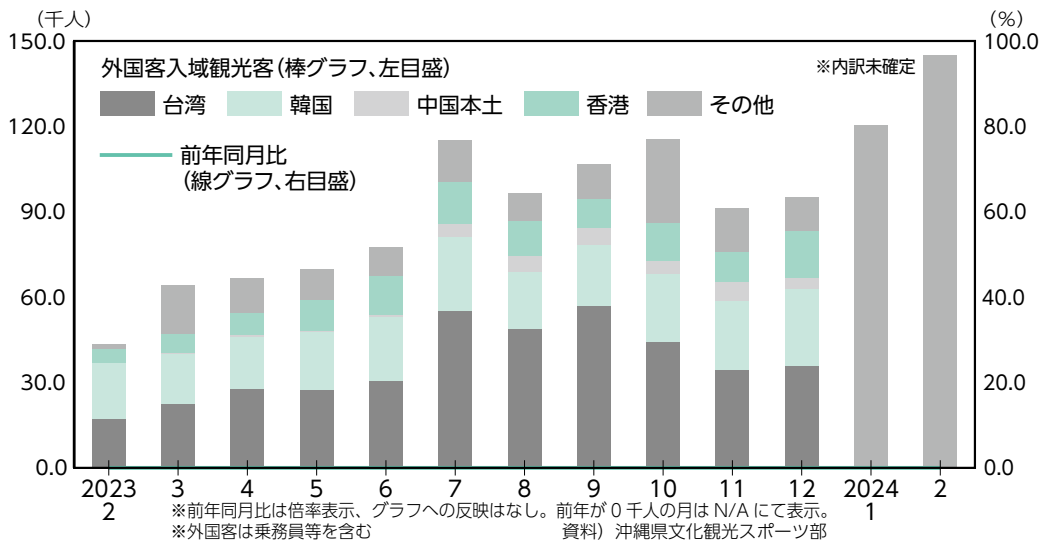


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月を上回る。



2月の入域観光客数は、121,300人多い719,200人(前年同月比20.3%増)となり、27ヵ月連続で前年同月を上回りました。要因として3連休が2回あったことや、プロ野球キャンプ見学などの各種イベント開催などが挙げられます。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、53,000人減少(6.9%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、42,300人増加(7.9%増)となっています。

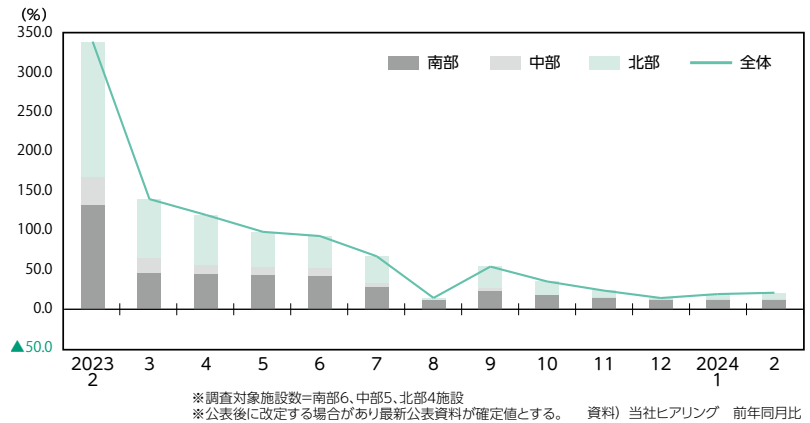
外国客入域観光客数は、144,800人となりました(空路94,400人、海路50,400人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。



## ② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

2月の観光施設入場者数は、団体客や外国人観光客の増加などにより全体では21.0%増となり23ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は15.8%増、南部は34.3%増、中部は3.7%増となりました。

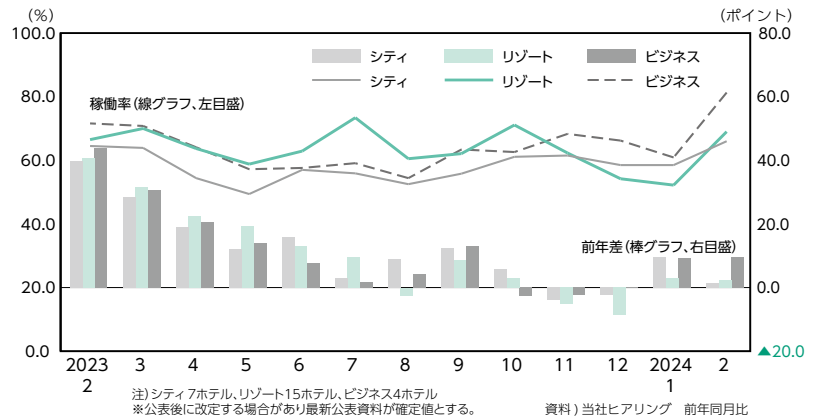
(参考)2019年同月比では、全体で27.2%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は23.7%の減少、南部は28.8%の減少、中部は37.8%の減少となっています。



## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、団体客増加や各種イベントの開催などから、シティホテルは前年同月比1.5ポイント増加、リゾートホテルは2.5ポイント増加、ビジネスホテルは9.7ポイント増加しました。

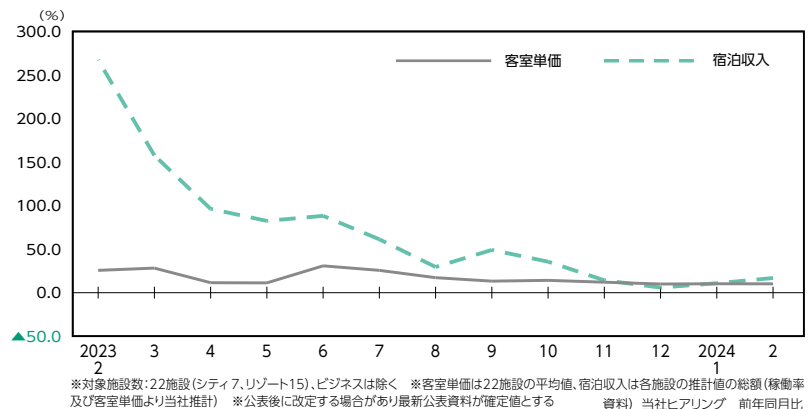
(参考)2019年同月比では、シティホテルは22.2ポイントの減少、リゾートホテルは11.3ポイントの減少、ビジネスホテルは6.7ポイントの減少となっています。



## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は10.2%増と13ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は16.9%増と27ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は14.5%の増加、客室収入は14.0%の減少となっています。





企業倒産

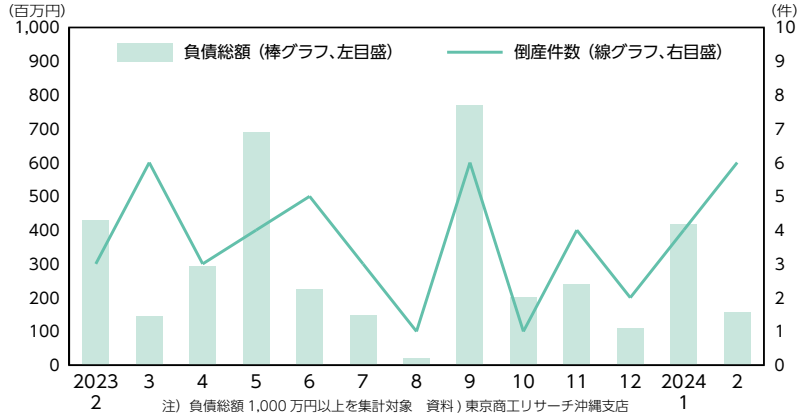


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

2月の企業倒産件数は6件（うち1億円以上10億円未満の大口倒産は発生なし）となり、前年同月より100.0%上回りました。

負債総額は1億5,700万円となり、前年同月より63.5%下回りました。



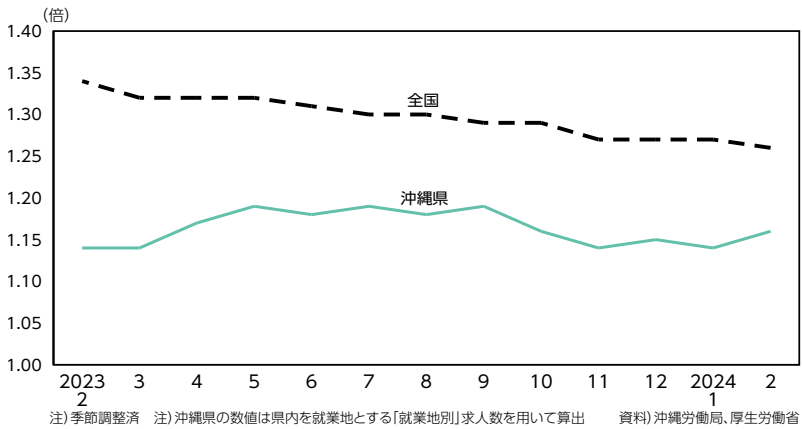
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月より上昇、全国は低下。

2月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比1.1%増の33,294人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.9%減の28,689人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.16倍と、前月より0.02ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄は前月と同水準、全国は上昇。

2月の完全失業率（季節調整値）は、2.8%となり前月と同水準となりました。

